

2013年3月期(第17期)
第3四半期 決算説明会資料

(2012年10月～12月)

2013年2月5日

日本通信株式会社

I. はじめに

(代表取締役社長 三田 聖二)

II. 第3四半期決算の概要

(代表取締役副社長 CFO 福田 尚久)

III. 今後の見通し

(同上)

<ご注意>

本資料に記載された見解、見通し、および予測等は、本資料作成時点での当社の判断によるものです。当社では、これらの情報の正確性を保証するものではありません。また、今後の市場環境の変化等の様々な要因により、今後の見通しおよび予測等が本資料とは異なるものとなる可能性があります。何卒ご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

はじめに

代表取締役社長

三田 聖二

これからの成長市場

モバイル・ソリューション市場

- SIM内蔵製品
- M2M
- フルIP電話ソリューション、他

「市場を創る」
「日本通信の強みが活きる」
「リーダーシップを執りに行く」

「第2四半期決算説明資料より」

目の前の市場

SIM市場

「着実な成長」
「収益源・キャッシュ源」

SIM製品が続々と



「Idea Tab」



「Padfone」



「AWR-100T」



「MEDIAS」



「Butterfly」



日本通信が提供

ドコモショップで
購入

中古市場
(急拡大中)

ドコモが提供

IP電話ソリューションを進化

当社はここに注力

FMCフォン (フルIP型)

固定電話番号によるIP電話でFMCを実現

当社がパイオニア

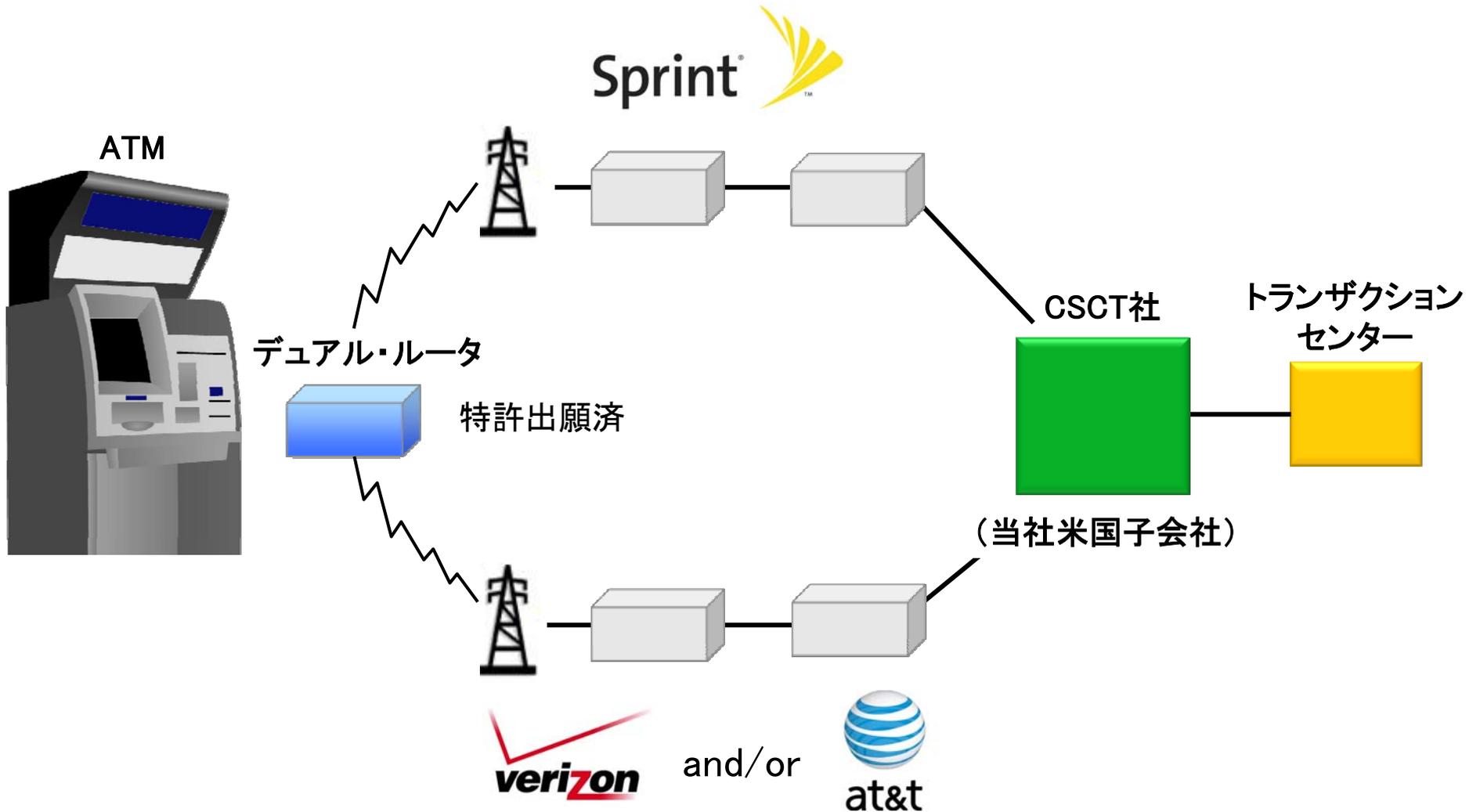
050 IPフォン (日本通信) ・ **050Plus** (NTTコミュニケーションズ)

050番号でIP電話

Skype, LINE, Comm, , , ,

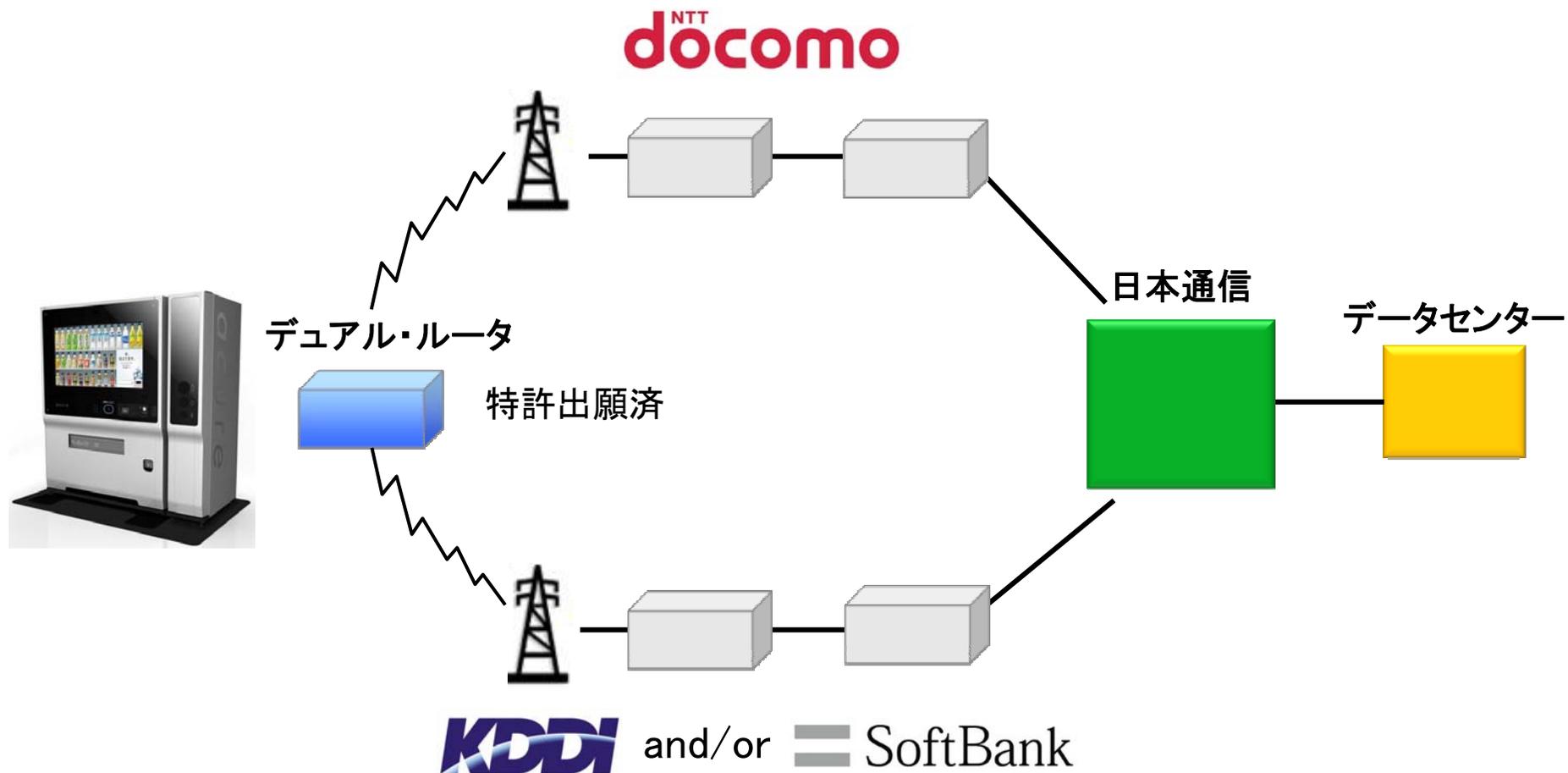
登録ユーザー間のカジュアル電話

M2M



ATMでの採用に必須のセキュリティ認定 (PCI-DSS) を取得

日本でのデュアル・ネットワーク展開



「日本通信ならではの」の戦略展開

「MVNO戦略」の今日

モバイル網のオープン化 



「これで何をするのか？」



日本通信の強み

- 無線専用線
- デュアル・ネットワーク
- FMCフォン
- リアルタイム課金、他



差別化ソリューションを
強力なパートナーと共に

第3四半期決算の概要

代表取締役副社長
CFO

福田 尚久

第3四半期 実績(連結)

単位:百万円	Q3 13/3期		前四半期		前年同期					
			Q2 13/3期	Q to Q	Q3 12/3期	Y to Y				
売上高	990	100.0%	967	100.0%	23	2.4%	965	100.0%	25	2.7%
売上原価	604 ^{※1}	61.0%	530	54.8%	74	14.0%	483	50.1%	121	25.2%
売上総利益	385	39.0%	437	45.2%	▲ 51	▲11.7%	482	49.9%	▲ 96	▲19.9%
差引売上総利益	388	39.2%	447	46.3%	▲ 59	▲13.3%	493	51.2%	▲ 105	▲21.3%
販売費及び一般管理費	376	38.0%	369	38.2%	6	1.8%	391	40.6%	▲ 15	▲4.0%
営業利益	12 ^{※1}	1.3%	78	8.1%	▲ 65	▲84.0%	101	10.6%	▲ 89	▲87.7%
経常利益	28	2.9%	66	6.9%	▲ 37	▲56.5%	96	10.0%	▲ 67	▲70.0%
当四半期純利益	121 ^{※2}	12.3%	45	4.7%	76	170.3%	95	9.9%	26	27.3%

※1 在庫の評価減を含む

※2 スtockオプション消滅による特別利益250百万円、及び繰延税金資産150百万円の取り崩しを含む

バランスシート(連結)

単位:百万円	Q3 13/3期	前四半期		前年同期	
		Q2 13/3期	Q to Q	Q3 12/3期	Y to Y
流動資産	3,683	3,847	▲ 163	2,988	695
現金及び預金	2,297	2,416	▲ 119	1,722	575
売掛金	612	538	73	488	123
商品等	367	471	▲ 103	429	▲ 61
繰延税金資産	165	314	▲ 149	154	10
その他流動資産	240	104	136	192	48
固定資産	1,260	1,083	176	921	339
有形固定資産	464	272	191	137	326
無形固定資産	649	647	1	718	▲ 69
投資その他	146	162	▲ 16	64	82
資産合計	4,944	4,930	13	3,909	1,034
流動負債	1,244	1,299	▲ 55	1,235	8
買掛金	175	203	▲ 27	295	▲ 120
前受収益	155	201	▲ 45	279	▲ 123
通信サービス繰延利益額	2	5	▲ 2	89	▲ 87
短期借入金	416	500	▲ 83	280	136
その他流動負債	494	389	104	290	203
固定負債	1,214	1,005	208	834	379
負債合計	2,458	2,305	153	2,070	388
純資産	2,485	2,625	▲ 139	1,839	646
負債純資産合計	4,944	4,930	13	3,909	1,034

50百万円の在庫引当金

150百万円の取り崩し

オフィス移転

SO消滅で250減少

キャッシュ・フロー計算書(連結)

単位:百万円	Q3 13/3期	前四半期		前年同期	
		Q2 13/3期	Q to Q	Q3 12/3期	Y to Y
営業活動による キャッシュ・フロー	▲ 69	1	▲ 70	209	▲ 279
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 51	▲ 149	98	23	▲ 75
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 3	417	▲ 420	▲ 127	123
現金及び現金同等物に 係る換算差額	4	▲ 0	5	0	4
現金及び現金同等物の 増減額	▲ 119	268	▲ 387	106	▲ 226
現金及び現金同等物の 期首残高	2,416	2,148	268	1,475	941
現金及び現金同等物の 期末残高	2,297	2,416	▲ 119	1,582	715
EBITDA	53	153	▲ 99	170	▲ 116

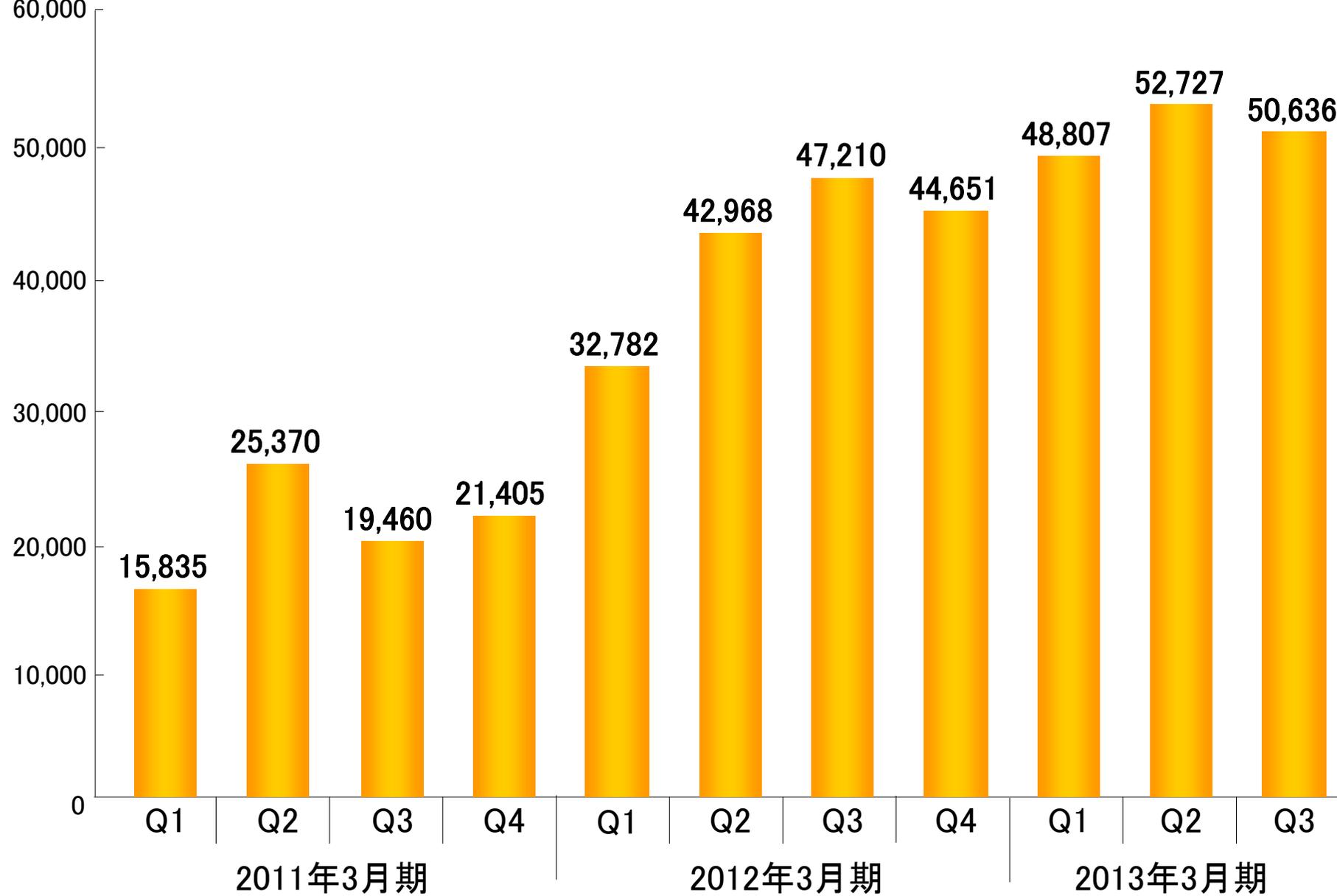
キャッシュ・フロー計算書(連結)

第3四半期累計期間

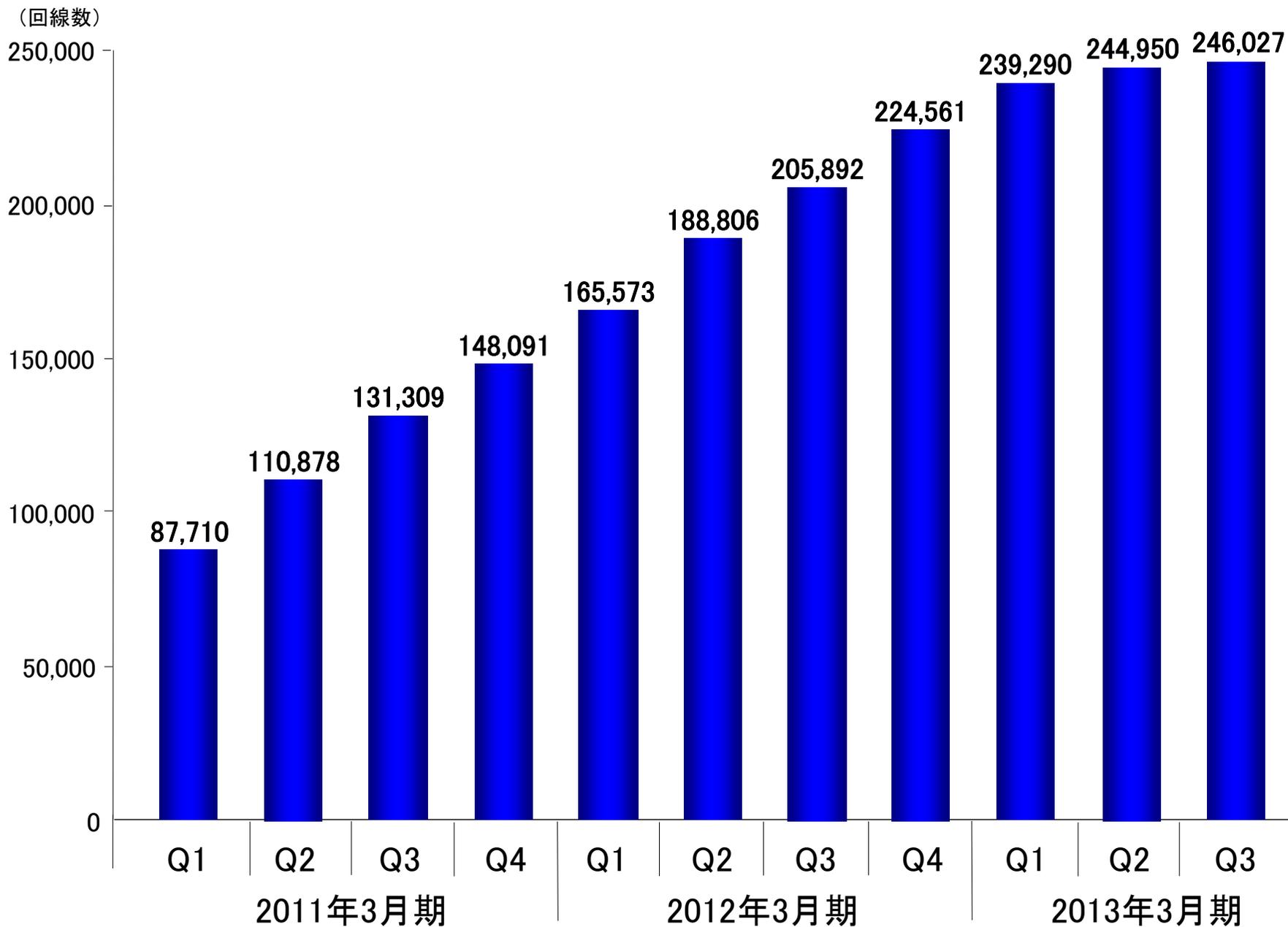
単位:百万円	Q1-Q3 13/3期 累計	前年同期	
		Q1-Q3 12/3期 累計	Y to Y
営業活動による キャッシュ・フロー	152	288	▲ 136
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 210	▲ 123	▲ 86
財務活動による キャッシュ・フロー	216	23	193
現金及び現金同等物に 係る換算差額	3	▲ 2	5
現金及び現金同等物の 増減額	162	186	▲ 24
現金及び現金同等物の 期首残高	2,135	1,396	739
現金及び現金同等物の 期末残高	2,297	1,582	715

SIM 四半期出荷数推移

(回線数)
60,000



SIMのアクティブ数



SIMサービス

Q2: スマホ電話SIM

	月額基本料	無料通話分
L	3,710円	(5,250円)
M	2,290円	(2,835円)
S	1,290円	(1,365円)

+ データ通信
オプション

日本通信



ヨドバシカメラ



アマゾン



SIMサービス

Q3: スマートSIM

2,980円	2GB + 150kbps + TC
1,980円	1GB + 150kbps + TC
980円	150kbps + TC (100kbpsから速度アップ)

※TC: TurboCharge (ワンタッチ高速切替)

日本通信



ヨドバシカメラ



アマゾン

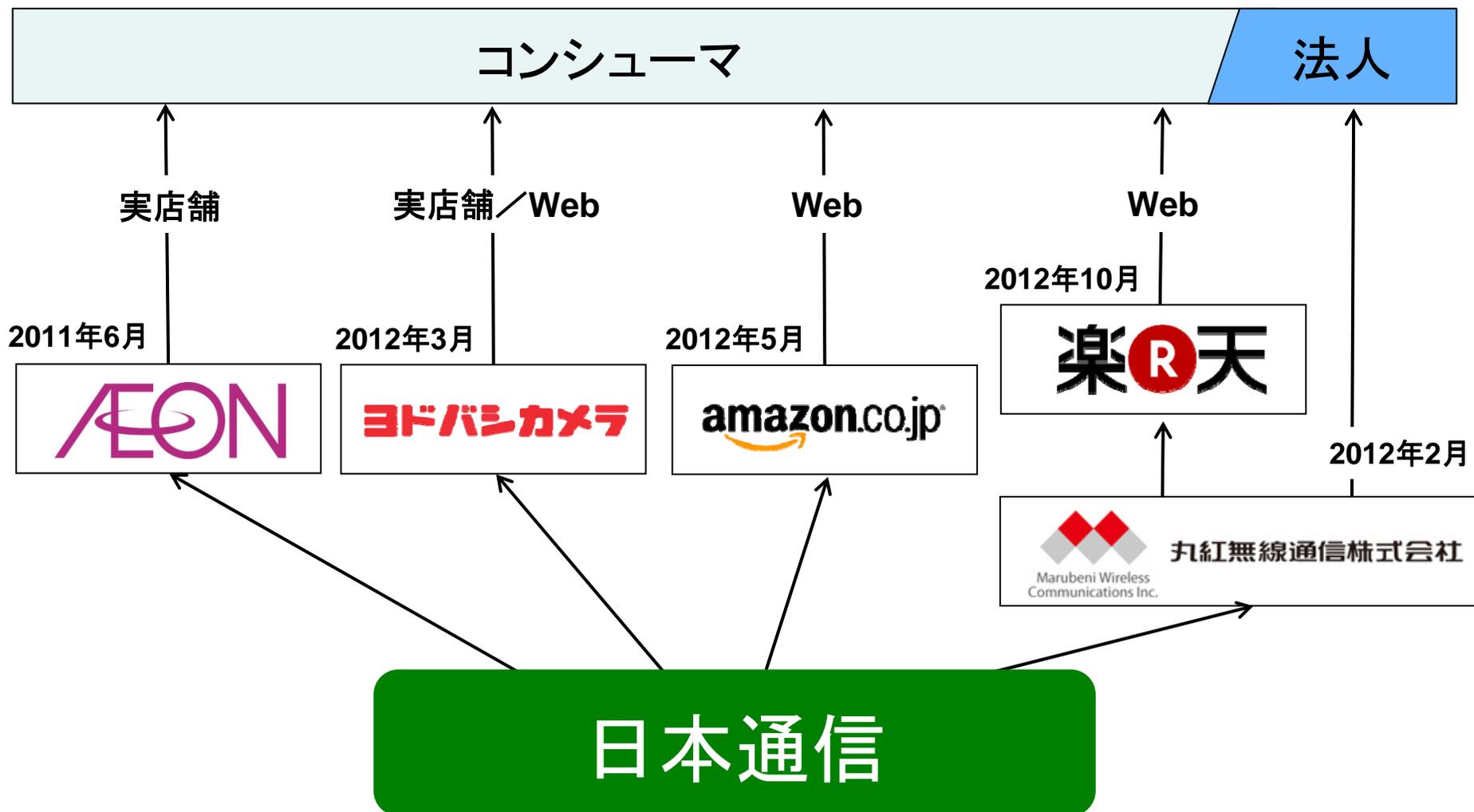


SIMサービス

Q4: スマートフォン用SIMの決定版

		980円 150kbps	1,980円 1GB高速+150kbps	2,980円 2GB高速+150kbps
音声	L 3,710円	4,690円	5,690円	6,690円
	M 2,290円	3,270円	4,270円	5,270円
	S 1,290円	2,270円	3,270円	4,270円

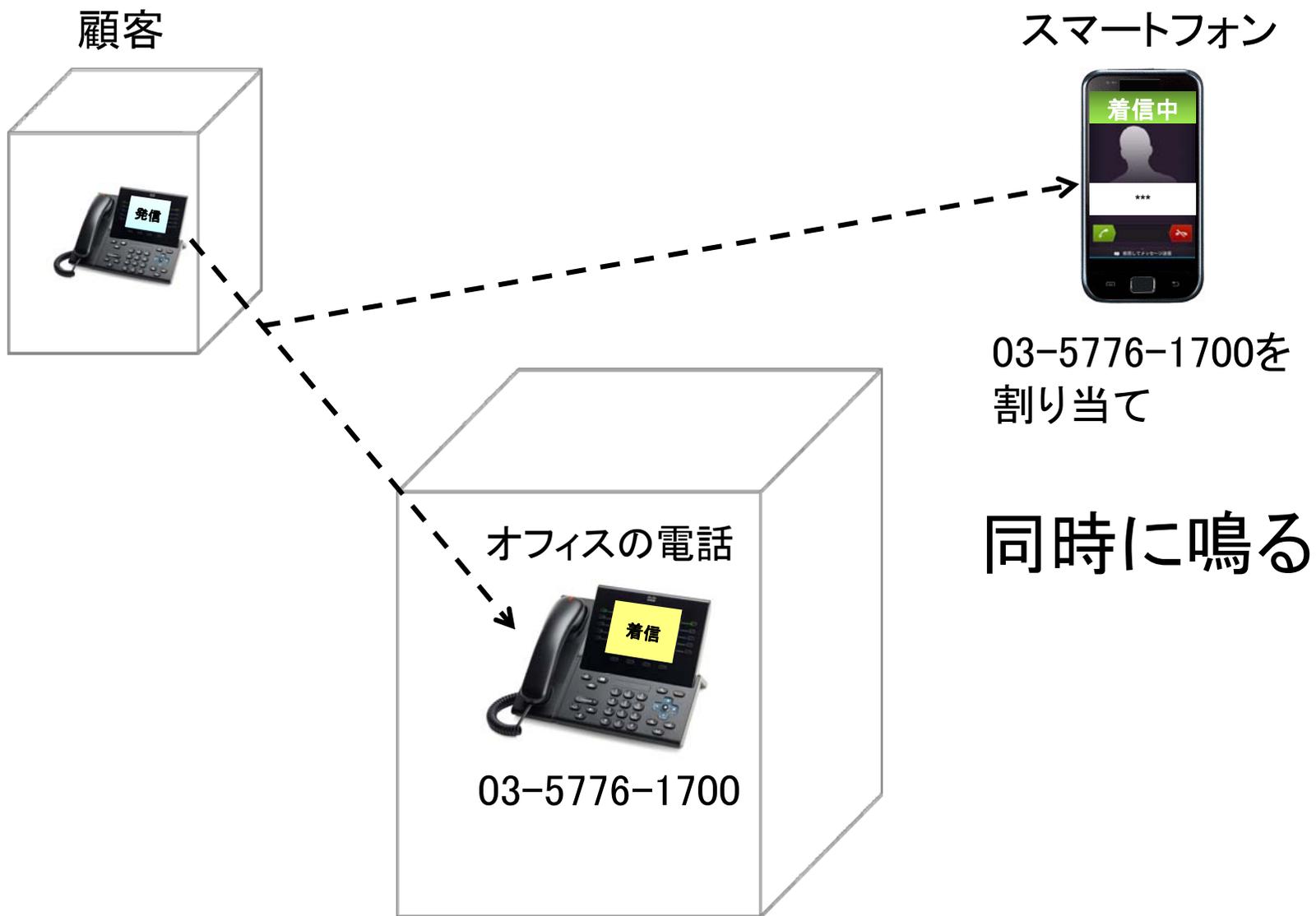
主なSIMパートナー



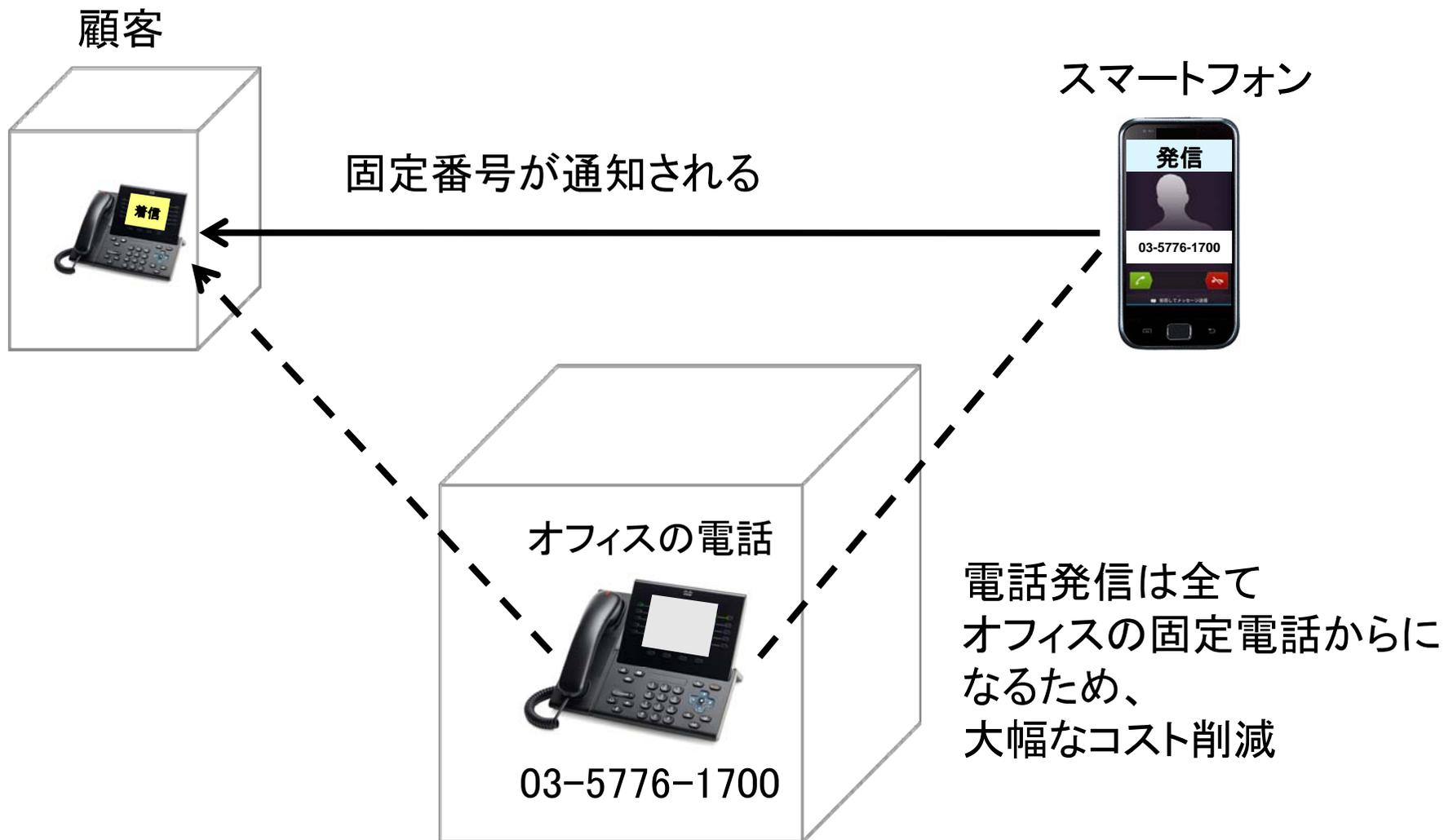
ビジネスデベロップメントのフォーカス

① FMCフォン

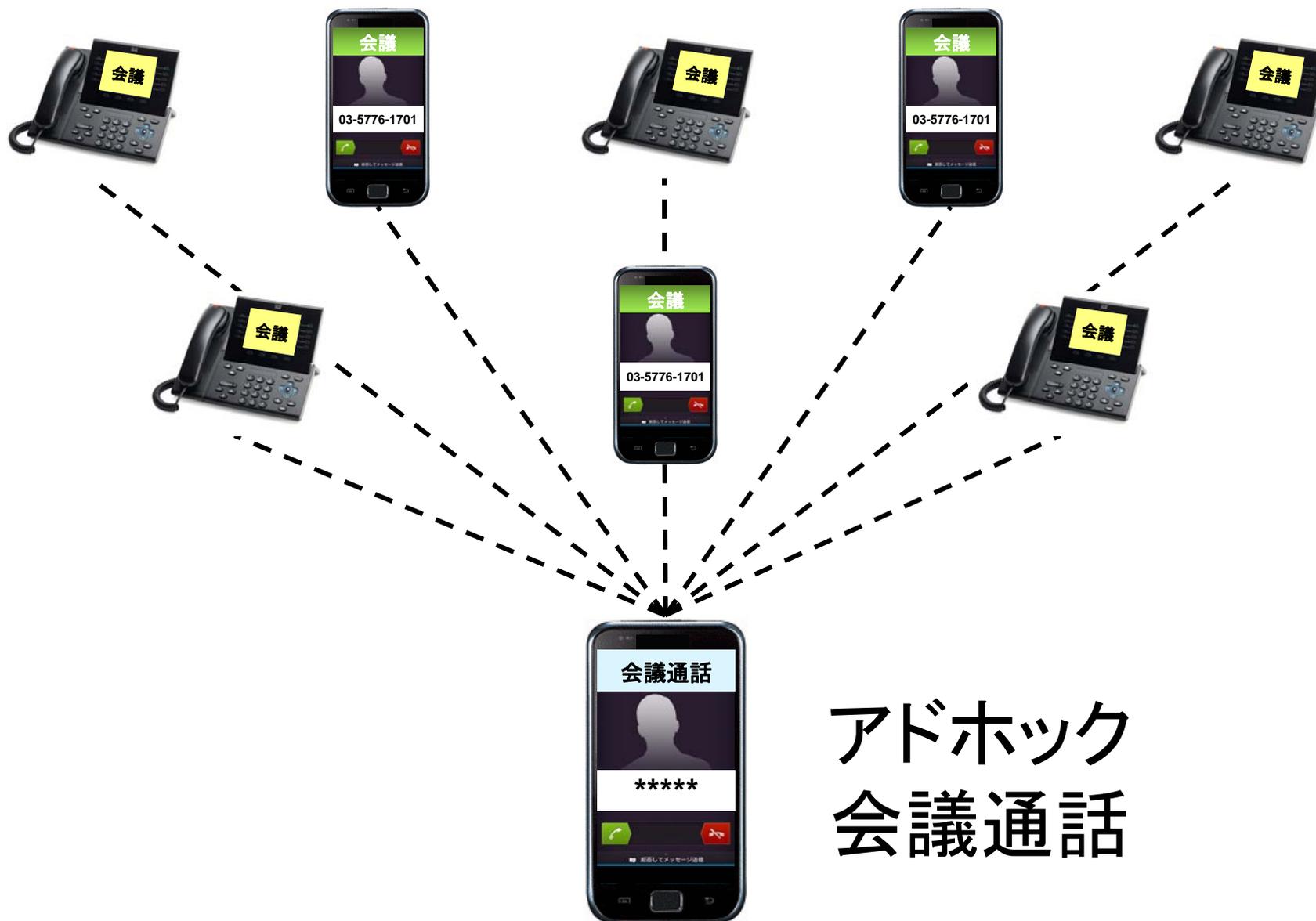
FMCフォンの機能①



FMCフォンの機能②



FMCフォンの機能③



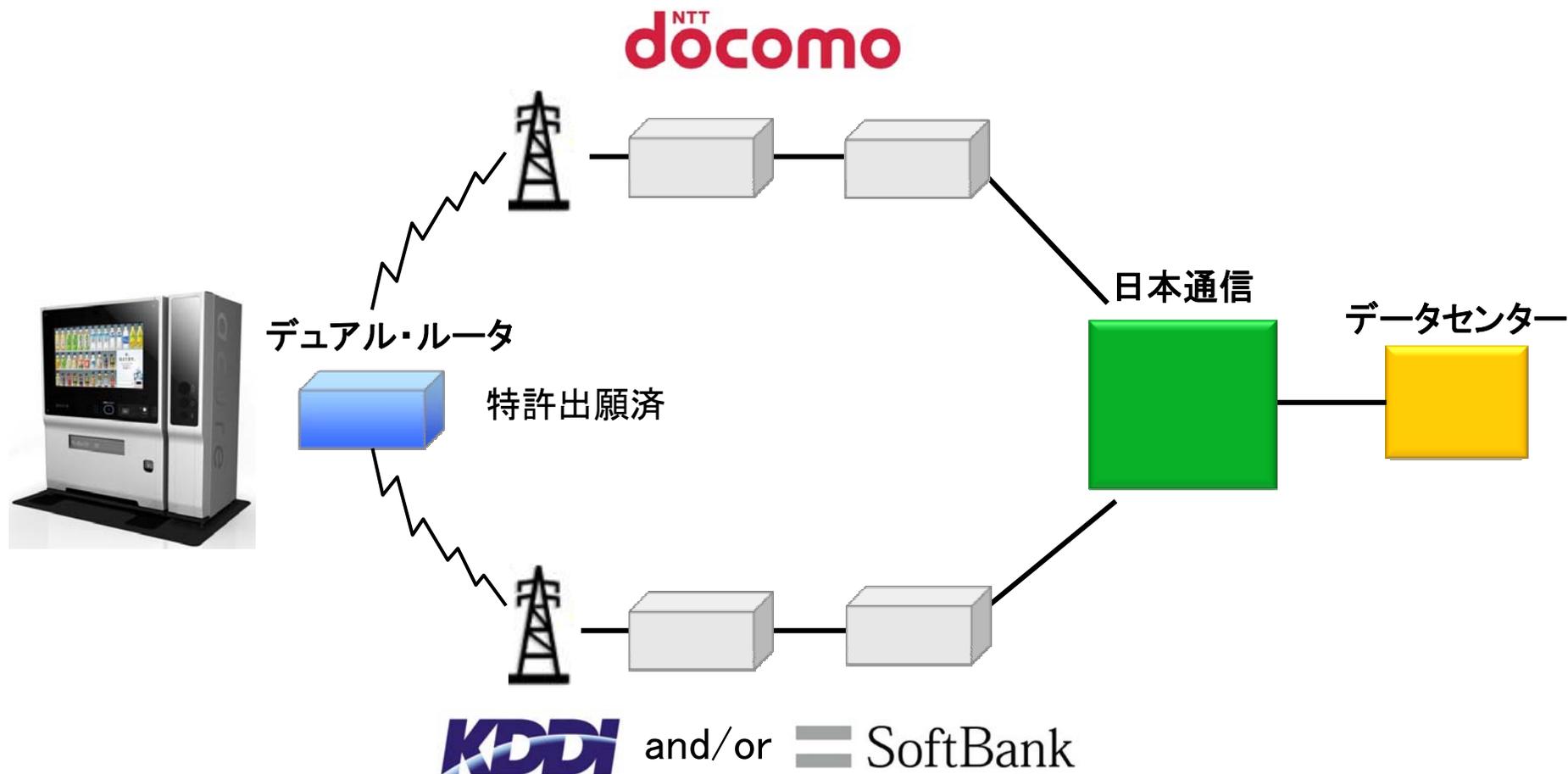
アドホック 会議通話

ビジネスデベロップメントのフォーカス

① FMCフォン

② デュアル・ネットワーク

日本でのデュアル・ネットワーク展開



「日本通信ならではの」の戦略展開

① FMCフォン

② デュアル・ネットワーク

③ **SIM内蔵製品**

SIMロックフリー製品が続々と登場

 初めからSIMが内蔵してすぐに利用開始

今後の見通し

2013年3月期 通期見通し

(百万円)

	従来見通し	2月4日修正	進捗 (Q1-Q3累計)
売上高	4,250	3,872	2,882
営業利益	550	164	164
経常利益	490	140	144
当期純利益	440	120	213

イコール・フットイング問題

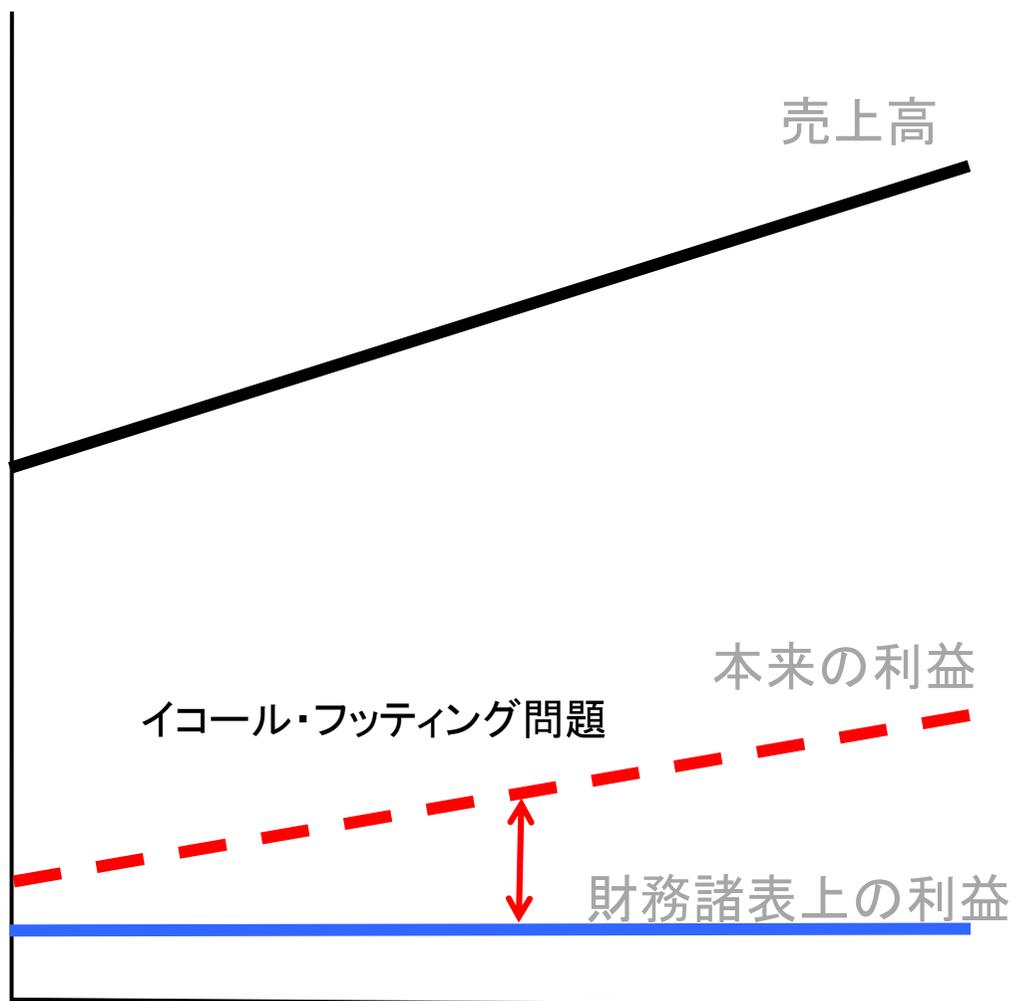
2012年12月、総務省に2つの意見申出を提出

(百万円)

当社単体	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
営業利益	51	443	200 (2/4修正見通しベース)
本来の 営業利益	157	? (今日まだ未定)	? (来年の今日でも不明)

↑
ドコモからの接続料情報は
まだ未提示

収益性 → ビジネスデベロップメント



本来の収益性を活かし
差別化ソリューションを
開発し、
パートナーと共に成長

Q&A